

令和5年度 小平市立花小金井南中学校 学校評価計画表					
学校教育目標		豊かな心を養い 学力、体力の向上を目指し 未来へはばたく人物を育成する 1. 心身ともに健全で自らを鍛え努力する人 1. 進んで学び 社会のために尽くす人 1. 認め合い 支え合う心優しい人			
目指す学校像(ビジョン)					
【目指す学校像】		○居心地のよい学校 ○分かる喜びのある学校 ○あいさつが自然と出る学校 ○保護者・地域から信頼される学校			
【目指す児童・生徒像】		○自己実現のために絶え間なく努力する生徒 ○思いやりの心を持ち、心も体も豊かな生徒			
【目指す教員像】		○生徒一人一人を認め、伸ばそうとする教師 ○生徒・保護者から信頼される教師 ○生徒の自己実現を支援する教師			
前年度までの学校経営上の成果と課題					
成果 : ○授業規律の確立 ○挨拶をはじめ礼儀指導 ○基礎・基本の確実な定着と学力向上 ○読書活動の充実 ○不登校や特別な支援が必要な生徒への対応 ○キャリア教育の推進 ○ホームページの充実 課題 : ○家庭学習の定着 ○地域連携					
	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標	成果指標
学力向上	○「主体的に学習に取り組む生徒の育成」という研究を継続し、教員の授業力向上を図り、生徒の主体的な学びを実現させ、基礎学力を定着させる。	○主体的な学びを実現させるための授業改善に努める。	○小グループによる学び合いを取り入れる。 ○ICT教材の積極的な活用を授業に取り入れる。 ○学年ごとの研究授業を学期に1回実施する。	4 全教科全学級の授業で実施 3 実施率80％以上 2 実施率60％以上 1 実施率60％未満	4 生徒アンケートで肯定的評価平均が3. 5ポイント以上 3 生徒アンケートで肯定的評価平均が3. 0ポイント以上 2 生徒アンケートで肯定的評価平均が2. 5ポイント以上 1 生徒アンケートで肯定的評価平均が2. 5ポイント未満
		○基礎学力の確実に定着させる。	○朝読書の始業前からの読書活動を実施し読む力を向上させる。 ○家庭学習の定着のために、各教科で課題を作成し、授業の振り返りをする。 ○定期テスト前における家庭学習の計画と実施の学習指導を行う。 ○放課後学習教室を毎週水曜日に実施し、授業の振り返り等を行う。	4 教職員の取組評価で、肯定的回答90％以上 3 教職員の取組評価で、肯定的回答80％以上90％未満 2 教職員の取組評価で、肯定的回答70％以上80％未満 1 教職員の取組評価で、肯定的回答70％未満	4 保護者による学校評価で肯定的評価平均が3. 5ポイント以上 3 保護者による学校評価で肯定的評価平均が3. 0ポイント以上 2 保護者による学校評価で肯定的評価平均が2. 5ポイント以上 1 保護者による学校評価で肯定的評価平均が2. 5ポイント未満
	○基本的な生活習慣の確立および、自主性・自律性の向上を図る。	○明るく元気のよい、心のこもった挨拶を習慣化する。 ○生徒の身体的、精神的な健康を考慮した活動を行う。	○生徒会が主になり生徒朝礼の計画的な運営と実施を行う。 ○定期的にあいさつ運動を実施するとともに日頃からの声かけを行う。	4 教職員の取組評価で、肯定的回答90％以上 3 教職員の取組評価で、肯定的回答80％以上90％未満 2 教職員の取組評価で、肯定的回答70％以上80％未満 1 教職員の取組評価で、肯定的回答70％未満	4 生徒アンケートで肯定的評価平均が3. 5ポイント以上 3 生徒アンケートで肯定的評価平均が3. 0ポイント以上 2 生徒アンケートで肯定的評価平均が2. 5ポイント以上 1 生徒アンケートで肯定的評価平均が2. 5ポイント未満
		○いじめを許さない集団を形成する。	○より良い人間関係・集団を作る能力の向上を図る。 ○学校行事・委員会活動の充実を図る。	○学校行事、生徒会活動等において生徒の活躍の場を増やすことにより、より良い人間関係を形成する能力を向上させ、いじめのない学校を推進していく。 ○生徒の心の育成を推進し、特別な教科道徳の授業を充実させる。	4 教職員の取組評価で、肯定的回答90％以上 3 教職員の取組評価で、肯定的回答80％以上90％未満 2 教職員の取組評価で、肯定的回答70％以上80％未満 1 教職員の取組評価で、肯定的回答70％未満
体力向上	○自己の体力の現状を把握し、体力の向上を図る。	○保健体育科の授業の充実(運動に対する興味関心を高め、生徒一人一人の運動の量と質を確保)を図る。 ○運動能力テストの結果等を生かした生徒の運動能力の向上を図る。	○目標を超えた生徒に対して表彰するほか、努力した成果を目に見える形で朝礼や学校便り、体育科便り等で周知すること意欲や成就感を高める。 ○授業や行事を通して生徒の運動への意識と技能を高める取組を行う。 ○持久力の向上を中心とした取組を継続して行う。	4 教職員の取組評価で、肯定的回答90％以上 3 教職員の取組評価で、肯定的回答80％以上90％未満 2 教職員の取組評価で、肯定的回答70％以上80％未満 1 教職員の取組評価で、肯定的回答70％未満	4 生徒アンケートで肯定的評価平均が3. 5ポイント以上 3 生徒アンケートで肯定的評価平均が3. 0ポイント以上 2 生徒アンケートで肯定的評価平均が2. 5ポイント以上 1 生徒アンケートで肯定的評価平均が2. 5ポイント未満
キャリア教育	○キャリア教育が目的とする5つの能力の育成を図る。	○望ましい勤労観・奉仕の精神を育成する。	○3年間を見通したキャリア教育を通じて望ましい勤労観・奉仕の精神を育成する。 ○係活動や委員活動を充実させ、自ら判断し主体的に行動できるようにする。 ○地域へのボランティアなどの情報を周知し、ボランティアへの参加機会を増やす。	4 教職員の取組評価で、肯定的回答90％以上 3 教職員の取組評価で、肯定的回答80％以上90％未満 2 教職員の取組評価で、肯定的回答70％以上80％未満 1 教職員の取組評価で、肯定的回答70％未満	4 生徒アンケートで肯定的評価平均が3. 5ポイント以上 3 生徒アンケートで肯定的評価平均が3. 0ポイント以上 2 生徒アンケートで肯定的評価平均が2. 5ポイント以上 1 生徒アンケートで肯定的評価平均が2. 5ポイント未満
		○進路指導を充実させる。	○系統的な進路指導や情報発信を行う。 ○進路説明会等を充実させる。(高校の先生を招いた説明会や卒業生の話を聞く会などの設定など)	4 教職員の取組評価で、肯定的回答90％以上 3 教職員の取組評価で、肯定的回答80％以上90％未満 2 教職員の取組評価で、肯定的回答70％以上80％未満 1 教職員の取組評価で、肯定的回答70％未満	4 保護者による学校評価で肯定的評価平均が3. 5ポイント以上 3 保護者による学校評価で肯定的評価平均が3. 0ポイント以上 2 生徒アンケートで肯定的評価平均が2. 5ポイント以上 1 保護者による学校評価で肯定的評価平均が2. 5ポイント未満
	○特別支援教育の視点で教室環境など配慮し、他者との違いを認め、行動しようとする態度を養う。	○特別支援教育の理解を深める。 ○不登校対応を積極的に行う。	○特別支援委員会を中心とした組織的な取組(SSWやSCの積極的な活用)を行う。 ○特別支援教室専門員を活用し、特別支援教室と通常の学級の連携を強化する。週に1回の担任と専門員の情報共有を行う。 ○不登校対応として別室登校の組織的な運営を行う。	4 教職員の取組評価で、肯定的回答90％以上 3 教職員の取組評価で、肯定的回答80％以上90％未満 2 教職員の取組評価で、肯定的回答70％以上80％未満 1 教職員の取組評価で、肯定的回答70％未満	4 教職員の達成率が90％以上 3 教職員の達成率が80％以上90％未満 2 教職員の達成率が70％以上80％未満 1 教職員の達成率が70％未満
		○特別支援学級と通常の学級との交流活動を活発に行い、互いの違いを認める共生社会の基礎づくりを行う。	○通常の学級と特別支援学級において行事等での交流を進める。 ○通常の学級生徒への理解教育を推進する。1年生への特別支援学級の理解教育を実施する。また、行事等を中心とした交流を進め、生徒の共生社会への意識を高めさせる。	4 教職員の取組評価で、肯定的回答90％以上 3 教職員の取組評価で、肯定的回答80％以上90％未満 2 教職員の取組評価で、肯定的回答70％以上80％未満 1 教職員の取組評価で、肯定的回答70％未満	4 生徒アンケートで肯定的評価平均が3. 5ポイント以上 3 生徒アンケートで肯定的評価平均が3. 0ポイント以上 2 生徒アンケートで肯定的評価平均が2. 5ポイント以上 1 生徒アンケートで肯定的評価平均が2. 5ポイント未満
働き方改革	○校務の効率化を図る。	○スクール・サポート・スタッフの活用を推進する。 ○校務の見直しを進める。 ○行事の内容を精査する。	○配信メールやPC等を活用し、普段の業務の軽減や授業準備等の軽減を図る。 ○スクールサポートスタッフや地域人材を積極的に活用し、校務軽減を図る。 ○教職員の自己申告面接の中で、担当行事等の見直しを提案し、1年間かけて精査する。	4 教職員の取組評価で、肯定的回答90％以上 3 教職員の取組評価で、肯定的回答80％以上90％未満 2 教職員の取組評価で、肯定的回答70％以上80％未満 1 教職員の取組評価で、肯定的回答70％未満	4 教職員の達成率が90％以上 3 教職員の達成率が80％以上90％未満 2 教職員の達成率が70％以上80％未満 1 教職員の達成率が70％未満
	○地域人材を活用する。	○地域・保護者との連携・協力関係を深める。 ○地域教育コーディネーターの活用を推進する	○地域教育コーディネーターを活用し、地域人材が積極的に関わるような取組を行う。 ○職場体験を地域学習コーディネーターが調整する。	4 教職員の取組評価で、肯定的回答90％以上 3 教職員の取組評価で、肯定的回答80％以上90％未満 2 教職員の取組評価で、肯定的回答70％以上80％未満 1 教職員の取組評価で、肯定的回答70％未満	4 地域人材を活用した取組が各学年に1つ以上実施 3 地域人材を活用した取組が3つ以上 2 地域人材を活用した取組が2つ 1 地域人材を活用した取組が2つ未満
コミュニティ	○学校経営協議会を設置し、地域と共にある学校を創り上げる。	○地域防災、学習支援、家庭支援の3つの分科会で協議を行い、学校と地域が一体となった活動を進めていく。 ○CS通信を発行し、保護者や地域に学校経営協議会の内容を周知する。	○防災危機管理課と連携し、避難所運営マニュアルを完成させる。(地域防災分科会) ○検定推進委員会を組織的に運営する。(学習支援分科会) ○地域や保護者の相談窓口となる「花みなみカフェ」を定着させる。(家庭支援分科会)	4 教職員の取組評価で、肯定的回答90％以上 3 教職員の取組評価で、肯定的回答80％以上90％未満 2 教職員の取組評価で、肯定的回答70％以上80％未満 1 教職員の取組評価で、肯定的回答70％未満	4 保護者による学校評価で肯定的評価平均が3. 5ポイント以上 3 保護者による学校評価で肯定的評価平均が3. 0ポイント以上 2 保護者による学校評価で肯定的評価平均が2. 5ポイント以上 1 保護者による学校評価で肯定的評価平均が2. 5ポイント未満